



2008ITU世界選手権バンクーバー大会ジュニアの部速報 女子は佐藤優香がランで頑張り11位

男子は細田貴茂の31位が最高位

6月5日(木)、カナダ・バンクーバーで、2008ITU世界選手権のジュニアの部(20歳以下)が、スプリントディスタンス(総合距離25.75km:スイム750m/バイク20km/ラン5km)で行われた。

気温14度、水温12度と低く、雨が降る中、ジュニア女子が午前7時にスタートした。スイムでトップを奪ったのはアナイス・モニシュ(ポルトガル)。日本の佐藤優香(日本橋女学館高等学校/チームケンズジュニア)が健闘して5位につける。

バイクに入ると、アレナ・スタシンスキー(ドイツ)が逃げはじめ、それを追ってカースティ・マクウィリアム(イギリス)とポーラ・フィンドレー(カナダ)がスピードを上げる。その後ろには、約20名の大集団ができあがった。

バイクからランに移ると、すかさず飛び出したのはマクウィリアム。スピードに乗った走りでごんごんとリードする。追うのは、ソフィア・トート(ハンガリー)とアシュレー・ジェントル(オーストラリア)、スタシンスキー。佐藤は、バイクでも好位置をキープしてランへ。一時期は7位を争う走りを見せた。

優勝は、ランでリードし続けたマクウィリアムで、1時間4分5秒のタイム。2位はジェントル、3位はトートだった。

ランで食い下がった佐藤は11位となった。そのほかの日本選手は、高橋侑子(桐朋女子高等学校/東京ヴェルディ)が18位、山本奈央(愛知県



バンクーバーの中心部を背景にスタート

佐藤 優香

日本橋女学館高校/チームケンズジュニア



スイムの水温が低く、コースも長く、身体が冷えてしまった。バイクでも足が温まらず、うまく走れなかった。その状態がランまでつづいてしまった。ランでは、1周目は前に出られたが、2周目で順位を落としてしまった。悪い条件のなかでいい経験ができたと思う。

細田 貴茂

埼玉県連合/チームブレイブ



スイムで出遅れてしまった。バイクはスピードが速くなかったの、思ったより楽だった。雨のせいというよりも、テクニックがなく、走りがバラバラで先頭交代があまりうまくいかなかったのが原因。ランでは、うまく走れたと思うが、他の選手も速く、あまりいい順位には入れなかった。

JTU Official Sponsors & Official Partners





スイムを5番手で上げる佐藤



女子のバイク時点で、雨は強くなりはじめた



バイクからランに移る。椿(左)と細田(右)がいる



先頭のルイスを追う第2集団

協会／愛知県立西尾高等学校)が39位。

午前9時スタートの男子は、スイムを最初に上がったのはジェイムス・アダムス(イギリス)。日本選手は、細田貴茂(埼玉県連合／チームブレイブ)が49位、工藤駿(北海道立千歳高等学校／パッシュ)が51位、椿浩平(狭山ヶ丘高等学校／チームブレイブ)が53位といずれも出遅れてしまった。

バイクでは、デニス・バシリエフ(ロシア)とビンセント・ルイス(フランス)、ジョシュア・アムバーガー(オーストラリア)が第1集団となり、その後ろに二人、第3集団と第4集団は10名を超える大集団となり、第5集団に細田と椿が入った。

ランでは、ルイスが積極的に前へ出てリード。そのまま快走して57分6秒のタイムで優勝した。2位はバシリエフ、3位はジョナサン・ブラウンリー(イギリス)となった。

日本選手は、細田が31位、椿が41位、工藤が51位だった。

7日(土)にはエイジグループの部、8日(日)はU-23(23歳以下)の部とエリートの部が行われる。

エリートの部で1～3位に入れば、その選手に北京オリンピック出場権が与えられる。また、JTU強化委員会の選考基準により、4～8位に入れば北京オリンピック代表選手が内定する。

このレースの様子は、『web JTU Magazine』フォトギャラリーでご覧になれます。

JTU Official Sponsors & Official Partners

